

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			R2当初 予算額	予算への反 映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
1	AIチャット ロボット導入 事業	市政情報課	<p>【担当課の要求どおりで良い】</p> <p>将来的な働き手の減少が予想される中にあって、持続的に安定した市民サービスの提供を行うためには、AI等先進技術の導入は検討するべきであり、その取組の一つとして、AIチャットボットを導入することは、多様化する市民ニーズに応じていく有効な手段の一つであると考えます。</p> <p>ただし、AIチャットボットは、市民等からの問い合わせに全て対応できるものではないため、AIでも対応できること、職員が対応すべきことをしっかりと整理をした上で、効率化を図りつつ、サービスの質向上につなげていただきたい。</p> <p>また、費用が高額であることから、十分に検証するとともに、単なる実証実験で終わることなく、本格稼働としての効果が出せるよう周知方法も工夫しながら、多くの回答例を積み上げて有効に活用していただきたい。</p>	令和2年度の実証実験に向け、調整を進めることとする。	4,598	4,598	変更なし	4,600	担当課の 要求を反 映
2	多言語対応 観光デジタル パンフレットを 活用したシ ティプロ モーション 事業	産業観光課	<p>【事業内容を抜本的に見直す】</p> <p>本事業については、①紙媒体による新観光パンフレットの発行、②コミック続編の制作、③システム導入によるデジタル化・多言語化の3つ論点から整理する。</p> <p>①紙媒体による新観光パンフレットの発行 必要性は概ね理解するものの、単に前回発行したパンフレットをベースに作成するのではなく、どういった人をターゲットにするのか、志木市への関心を深めるような内容の充実を図るなどの見直しを再検討された上で作成していただきたい。</p> <p>②コミック続編の制作 志木市を訪れた人の数や「いろは水輝、4式ロボ」の認知度など、既存コミックに関する効果検証がしっかりなされていない。続編を制作することには疑問がある。</p> <p>③システム導入によるデジタル化、多言語化 多言語対応が民間任せであり、市によるチェック体制が甘いこと、また、多言語化に対するニーズやデジタル化による迅速な情報更新に関する説明が曖昧であったことから、システム導入は時期尚早と考える。</p> <p>全体として本事業を進める場合は、必要性や効果検証を整理するとともに、観光施策に関する戦略を定めるなど、方向性を決定したうえで進めていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体のパンフレットについては、志木市に来てほしい観光客のターゲットを設定し、ターゲット層の望む情報や紙面のデザインを行う等の見直しを図る。 コミックの続編は制作せず、既存のコンテンツをもとに経費をかけずに市内外での普及や、愛好家による二次制作の普及を進めることとする。 デジタル化については、既に導入している広報誌のデジタル化と連携して多言語対応を進めることとする。 	2,013	732	コミック続編制作費及び多言語対応デジタルパンフレット作成費の取り下げ	732	担当課の 要求を反 映

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			R2当初 予算額	予算への反 映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
3	高齢者安全 運転支援装 置設置補助 事業	都市計画課	<p>【担当課の要求を認めない】</p> <p>「75歳以上の高齢者による事故の割合」や「ブレーキの踏み間違いによる事故の割合」などの根拠となる基本データが少なく、志木市における交通事故の発生原因についての現状分析もできていない。費用対効果が不明であり、効果予測が不十分と言わざるを得ない。</p> <p>また、市外から訪れた運転者が事故を起こす可能性もあることから、対策は広域的な視点でも考える必要があり、この事業を志木市が単独で行うべきなのかについても再検討する必要がある。</p> <p>今後も高齢者人口の増加が見込まれる中、高齢者向けの交通安全対策は重要な課題である。運転免許証の自主返納促進やデマンド交通制度・交通標識の充実や啓発活動など、市の交通政策全体の議論をしっかりと行い、効果的な組み合わせで事業を進めていただきたい。</p>	<p>志木市内で発生した交通事故データが少ないため、そこから分析を行い、効果予測を導き出すことは困難であるが、交通安全対策は、過去の事故データに基づく対策だけでなく、将来の交通事故の発生リスクを踏まえた対策も重要であり、事業実施の意義はあると考えている。</p> <p>また、国においても後付けの安全運転支援装置設置への支援を実施する意向との報道もされたところであり、今後、国、県の動向を見ながら、市としての対応方針を判断することとする。</p>	2,550	1,500	補助対象人数の見直し(85人⇒50人)	0	担当課の 要求を認 めない
4	志木第四小 学校プール 解体及び水 泳指導民間 委託事業	教育総務 課・学校教 育課	<p>【事業内容を一部見直す】</p> <p>志木第四小学校のプールは、老朽化が進行し、児童の安全確保が難しいことから、令和2年度について水泳指導を民間事業者へ委託することは、概ね賛成である。</p> <p>ただし、移動にかかる経費については、再検討を行い削減を図っていただきたい。</p> <p>また、現在、「志木市水泳指導のあり方基本方針検討委員会」において、今後の水泳指導のあり方について検討を行っているのであれば、志木第四小学校のプールをすぐに解体するのではなく、安全対策を講じた上で、検討委員会での検討結果が出た後に対応策を判断するべきである。</p> <p>なお、今後は他校においても、プールの老朽化による同様の課題が生じることが予想されることから、児童、教員、財政すべてにとっての最適解となるよう、将来的なビジョンを持って検討を行っていただきたい。</p>	<p>志木第四小学校のプール解体については、検討委員会の答申を踏まえ、今後の方針を見極めていくこととし(令和2年度の解体は行わない)、水泳指導の民間委託については、移動にかかる経費についての再検討を行いながら、事業化を進めていくこととする。</p>	31,603	4,213	志木第四小学校プール解体工事費の取り下げ	4,300	担当課の 要求を反 映
合 計					40,764	11,043		9,632	